

和紙のすきとりの原理で耐久性アップ

和紙の製法をヒントに開発したセメントボードによる構造物の補修工法

維持管理・更新
を支える
優れた工夫

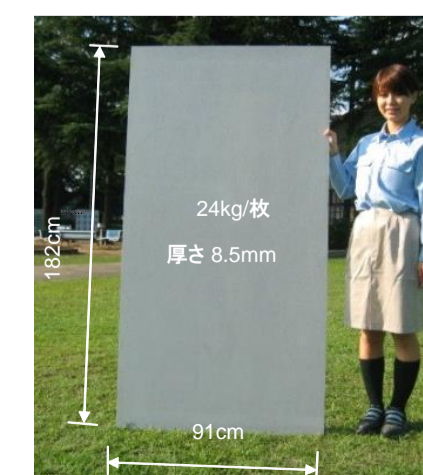


- 和紙の製法をヒントに開発した大量生産可能な製法によるセメントボードを用いた補修工法
- 薄型・軽量・高強度を活かし、制約のある条件下での施工や、施設を供用しながらの施工が可能
- 炭酸ガス、塩分などの劣化因子を遮断する表面保護性能を発揮（28年間相当で中性化1mm）

既存工法との比較

	既存工法	スムーズボード
製造方法	金型に流し込む製造で割高	抄造法という和紙のすきとりの原理を用いることで大量生産可能
厚さ	30mm前後	8.5mm
重量	100kg/枚	24kg/枚
加工性	現場で加工困難	現場で切断・孔開け可能

既存工法と比べて、軽量で製造コストや施工コストが安価であり、大量生産も可能



施工状況

トンネルの片側交互通行や、列車間合い作業で昼間施工を実施

